



プロジェクト名称

団地サテライトラボ

プロジェクト活動概要

本プロジェクトは、学生が主体的に活動を行う場所の提供や活動自体の支援を行うことを目的とし、団地にサテライトラボを設置することで学生たちが大学以外でフィールドワークを行う支援をしていく。昨年度までは原市・尾山台団地の高齢者を対象にした体操やウォーキング活動を中心とした活動を通し、団地の方々とのつながりをつくり、活動の基盤を築くことができた。

今年度は学生の学外活動と団地全体の活性化の手助けから、団地住民また周辺地域と芝浦工業大学の学生を繋げることを中心に行う。サテライトラボ上尾を活用により学生と住民が密なコミュニケーションを図ることができ、地域のニーズをつかみやすい環境となっている。また、今年から芝浦工業大学で採択された地の拠点整備事業とも連携し地域住民への情報発信共有拠点として活用している。

活動状況報告&活動写真など 活動期間：2014年10月1日～12月31日

本年度は“団地住民との学生のつながりづくり”と“学生の学外活動の支援”を中心に取り組んでいる。なかでも10月から12月の間では昨年度から続く定期活動と“団地住民との交流”を行ってきた。

・サテライトラボ上尾の定期開放(11月～現在)

11月から団地住民との交流・サテライトラボの認知度の向上を目的としラボの開放を行っている。訪問に来られる割合としては依然としてパソコンや携帯の使い方を聞きにくる高齢者が大半である。またサテライトラボの団体の利用状況に関しては寒くなるにつれ、使用率の低下が見受けられた。学生が普段からラボにいてより認知度を高めよりメンバー一人ひとりが住民との交流や地域に入り込みことができる。

・餅つき大会(12月28日)

団地住民のニーズにもとに、自治会の協力のもと団地・自治会の高齢化に伴って行われていなかった餅つきを企画・実施した。多世代交流を目的とし実際に住民の方にも参加しお餅を一緒についてもらい、楽しむとともにその場でつくたてのお餅を提供した。

今回の企画では今までラボに足を運ぶことの少なかった若い世代の親子が多く足を運び、新たなきっかけを作ることが出来た。また、今回の企画を機に自治会主催で行っていきたいという意見があり、今後の自治会の活性化に繋がった。



・ウォーキング活動支援

昨年度から継続的に行われ、今年から有志により自主的に毎月活動が行われている。毎月住民の方の意見をもとに目的地を決め活動を行っている。

～概要～

日時	内容
10月24日	無線山小室受信所
11月21日	丸ヶ崎・子なます神社
12月19日	原市どんぐり山・原市古墳



今後の活動計画、目標、意気込みなど

“学生の学外活動の支援”と“団地住民との学生のつながりづくり”を中心に取り組んできたが、高齢者が多いという問題点から高齢者を対象にした企画が多かった。今後は若い世代にもターゲットを広げ活動の幅を広げていく。

・教室企画(中学校との連携)

近隣中学校の生徒を対象とした勉強会。

勉強を通して連携していくことが地元中学生を巻き込んだ地域貢献や交流のきっかけとなる。また、地域での認知度の向上や交流頻度の少ない世代とのつながりの構築に繋がり、地域の力となる若い世代を巻き込む環境の構築にもなる。

これらを構築することで学生が子供たちに勉強を教えたり、本学の留学生が語学や文化を教えるといった交流機会をつくり、学生に学外活動の支援を行う。